

## 分担研究課題名

### 保健福祉情報の整備と活用に関する研究

## 分担研究者報告書

分担研究者 庄 司 順 一

## リサーチ・クエスチョン

1. 母子保健福祉情報のデータベース化はどのような資料をどのように利用できるように作成するか。

(実際に利用できる形のデータベースを作成し、試用に供してほしい)

## 研究目的

パーソナル・コンピュータやインターネットの急速な発展は、保健・医療・福祉に関する分野においても、新たな情報提供のあり方を提起している。「厚生省心身障害研究」では、広範囲にわたる有用な情報が毎年報告され、集積されてきているが、これまで、研究者や保健婦等現場で実践に携わる者、地方の行政担当者に十分活用されてきたとはいえない。心身障害研究報告書をデータベース化すれば、もっと有効に活用されるようになることはいまでもない。

そこで、前述のリサーチ・クエスチョンにもとづき、「厚生省心身障害研究報告書」のデータベース化をすすめるための条件、方法について検討を行うとともに、インターネット上で母子保健にかかわる情報が、どのような内容で提供されているかを検討した。

## 前年度までの研究成果

前年度に行った研究から次のような結論を得た。

①母子保健における情報提供のあり方について、パソコン通信とインターネットのいくつかのホームページにみられる母子保健・医療・福祉の情報を検索し、これらの情報がこれからの母子保健・医療・福祉の活動に大きく貢献するであろうことを確認した。

②厚生省心身障害研究のデータベース化を目指して、報告書の利用状況等に関する調査を行った。その結果、報告書は参照されれば有効な資料となりうるが、保健婦等においては報告書自体が十分知られていないこと、報告書のデータベース化が望まれていること、情報機器(パソコン)は整備されているが、インターネット等通信環境は不十分であること等が明

らかになった。

③心身障害研究報告書をデータベース化するうえでの問題点を整理するために、平成6年度研究報告書の様式を分析し、内容構成や書式が統一性に欠けることが明らかになり、様式を改善する必要があることが指摘された。

④心身障害研究報告書をデータベース化するために、その可能性と実用性を検討し、データベースとしては全文データベースが望ましいこと、データベースの作成にあたっては、過去の報告書は画像データによるのが、また将来の報告書はテキストデータによるのが適当であると考えられることを指摘した。

⑤平成6年度小宮班研究報告書にもとづいて、画像データを利用したデータベースのサンプル版CD-ROMを作成した。

## 研究方法

次の3つのテーマについて、研究協力者の討議により、研究をすすめた。

- 1)母子保健・医療・福祉情報におけるコンピュータ資源－インターネットにおける情報の活用－
- 2)厚生省心身障害研究報告書サンプル版イメージデータベース（CD-ROM版）について
- 3)厚生省心身障害研究報告書のデータベース化に関する研究

## 研究結果

- 1)母子保健・医療・福祉情報におけるコンピュータ資源－インターネットにおける情報の活用－（中村 敬）

少子化を背景にさまざまな子育て支援が行われているが、この中で注目される1つのこととして、子育てに関する適切な情報を適時提供するシステムが考えられる。マルチメディア時代の到来により、爆発的な流行となっているインターネットからも母子保健、医療、福祉に関連する有益な情報が発信されており、中には双方向の情報交換の場としても活用されている。しかしながら、問題のある情報もあるが、それらは情報の受け取る側の判断にまかされている。情報の提供元としては、行政機関、研究機関、教育機関によるものが多く、最近では各種の民間団体、ボランティア団体、患者親の会、子育てサークル、個人から提供される情報が増加してきている。

- 2)厚生省心身障害研究報告書サンプル版イメージデータベース（CD-ROM版）について（中沢明紀・中村 敬・斉藤 進・恒次欽也・庄司順一）

平成7年度に試作した厚生省心身障害研究報告書（平成6年度の小宮班の報告書）のイメージ（画像）によるデータベースのサンプル版（CD-ROM）について、保健医療関係者

にモニターを依頼し、その利用上の問題点等について検討した。

イメージデータベースは、図表の多い報告書を電子情報として提供するには有用と思われたが、報告書そのものが鮮明な文字、図、表であることを必須とすることが指摘された。また、試作したサンプル版はイメージデータベースと検索ソフトとの連携が必ずしもスムーズでないこと、検索のためには表題、研究者名、見出し語だけでは検索には不十分で、「要約」を含める必要があることが指摘された。

これらの検討をふまえ、将来的な報告書のデータベース化を視野にいれ、研究報告書の執筆要領及びフロッピーディスクでの原稿提出要領について提案を行った。データベース化し、文献として検索しやすくするためには、報告の形式を統一するために「作成要領」にもとづいて執筆すること、報告者自身が検索を意識して「要約」を記載したり、「見出し語」を選定すること、また少なくとも表題と執筆者の氏名には英訳を付すことが望ましいことを強調した。

### 3)厚生省心身障害研究報告書のデータベース化に関する研究(齊藤 進・庄司順一・中村敬・恒次欽也・中沢明紀)

「心身障害研究報告書」のデータベース化の可能性と有効性を検討するために、小宮班の研究協力者に平成7年度報告書作成に用いた電子データをフロッピーディスクで提出してもらい、パソコンの機種、使用ソフト、フロッピーディスクの種類等を検討した。

その主な結果は次のとおりである。

①電子データ(フロッピー)は使用されているソフトも多彩で、提出にあたって統一をはかることは困難であり、また適当な検索ソフトがなく、現状では、電子データによるデータベース作成は実際的ではないと考えられた。

②したがって、現状では、心身障害研究報告書をデータベース化するには、画像データ中心のデータベースに、著者、タイトル、要約の文字データベースを組み合わせる方法が、コスト、実用性から適当であると考えられた。

③将来的には、パソコン環境もより整備され、全文データベース検索環境も整うと考えられるので、現時点からフロッピーによる電子データ(テキスト)の提出を推進する必要があると考えられた。

また、前年度はイメージ(画像)データによるサンプル版を試作したが、今年度は、平成7年度小宮班報告書をもとに、イメージ(画像)データと電子データ(テキスト)とを含んだサンプル版CD-ROMを作成した。

### 4)まとめ

以上の諸研究から、次のような結論を得た。

①保健福祉の領域においても、インターネットからも有益な情報が発信されているが、問題のある情報も少なくない。

②心身障害研究報告書をデータベース化するには、現状では、使用されているソフトが多様であり、統一したデータに加工するするのが困難であるために、スキャナーで画像データとして読み込み、これに目次、索引をつけて検索に利用する方式が実際的であると考えられた。

③将来的には、パソコン環境もより整備されると予想され、全文データベース検索環境も整うと考えられるので、フロッピーによる電子データ（テキスト）の提出を推進する必要がある。

④データベース化をはかるためには、報告書作成要領の明確化と、これにもとづいて執筆することが求められる。

### 今後の研究方針

1)今年度に引き続き、コンピュータ通信網にのっている大量の情報の中から、母子保健医療福祉に関連し、利用価値のある情報をピックアップし、その提供先、アクセスの方法、情報の内容等についてディレクトリを作成し、広く活用できる資料集を作成したい。

2)心身障害研究報告書のデータベース化をすすめるために、データベース作成にふさわしい報告書執筆要領について検討するとともに、フロッピーディスクによる電子データの書式についても検討する。

3)平成8年度心身障害研究報告書すべての研究報告を画像データとして入れたデータベース（CD-ROM版）を作成し、その実用性、有用性について検討する。

### 別添資料

別添資料として、次のものを各1提出した。

①ホームページのサンプル（カラー印刷版）。同じものはモノクロ印刷で本文中に示されている。

②CD-ROMサンプル版(1)。平成7年度の心身障害研究報告書（小宮班）のイメージ（画像）データベース（ソフトとしてAlchemyを使用）。

③CD-ROMサンプル版(2)。平成7年度の心身障害研究報告書（小宮班）のテキストデータベース（ソフトとしてDynaTextを使用）



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



### 研究目的

パーソナル・コンピュータやインターネットの急速な発展は、保健・医療・福祉に関する分野においても、新たな情報提供のあり方を提起している。「厚生省心身障害研究」では、広範囲にわたる有用な情報が毎年報告され、集積されてきているが、これまで、研究者や保健婦等現場で実践に携わる者、地方の行政担当者に十分活用されてきたとはいえない。心身障害研究報告書をデータベース化すれば、もっと有効に活用されるようになることはいうまでもない。

そこで、前述のリサーチ・クエスチョンにもとづき、「厚生省心身障害研究報告書」のデータベース化をすすめるための条件、方法について検討を行うとともに、インターネット上で母子保健にかかわる情報が、どのような内容で提供されているかを検討した。